

# 地域主導の藻場再生による脱炭素と自然共生

▶ 裕次郎 彰蔵

▶ 【住所】唐津市鎮西町串415番地の1 【TEL】090-5282-6210  
【URL】<https://kesamaru-suisan.jp/>

緩和適応  
分野

## 活動概要

### 取組の概要

私は佐賀県唐津市鎮西町串で、磯焼けにより失われた藻場の再生に20年以上取り組んでいます。地元漁業者や市民、学校、行政、大学と協力し、食害生物の密度管理やモニタリング、海岸清掃、体験学習を継続してきました。藻場を通じた炭素吸収や生物多様性の回復、漁場環境の改善を進めるとともに、子どもたちへの環境教育を通じて「海を育てる」意識の輪を広げています。

### 気候変動対策としての貢献度

私は、磯焼けにより失われた藻場の再生を通じて、海の炭素吸収機能を高める活動を続けています。藻場はブルーカーボンとしてCO<sub>2</sub>を吸収・固定し、気候変動の緩和に貢献します。これまでの取組で、Jブルークレジットとして約95トンのCO<sub>2</sub>吸収量を創出しました。また、藻場の回復は魚類や海藻の生育環境を整え、生態系の多様性と安定性を高めるなど、気候変動への適応にもつながっています。

### 期待される波及効果

私の活動は、地域漁業者が主体となって藻場を再生し、ブルーカーボンを価値化する新たな地域モデルとして広がりつつあります。Jブルークレジットの創出により、環境保全が経済的価値を生むことを実証し、持続可能な漁業や地域経済の再生にもつながっています。また、子どもたちへの環境教育を通じて「海を育てる暮らし」の意識が広がり、地域全体で自然と共生する文化の醸成が期待されています。

### 刷新的要素

私の取組は、唐津市が「生物多様性増進活動促進法」に基づき策定した「連携増進実施計画（自然共生サイト）」の認定を受けた点に大きな特徴があります。地域漁業者としての自主的な藻場再生活動が、市や大学、企業との協働により制度的に位置付けられ、地域ぐるみで自然共生と脱炭素を両立する仕組みとして発展しました。地域主体の取組が国の制度と連動し、政策的にも持続可能なモデルとなっている点が革新的です。

### 今後の計画、持続的な展開の展望

今後は、再生した藻場の維持・拡大を進めるとともに、唐津市の「連携増進実施計画（自然共生サイト）」と連携し、地域全体での自然共生と脱炭素の取組を強化していきます。Jブルークレジットの活用による新たな収益源の確立や、次世代の漁業者・子どもたちへの継承を重視し、教育や体験活動も継続します。地域循環共生圏の実現に向け、持続的に発展する海づくりを目指します。

### 《講評》

全国的な海洋温度の上昇で沿岸域の藻場などの生態系が変化し漁業や炭素循環に影響している。氏は地元の唐津の海でクロメなどの藻場再生等を20年を超えて地道に行われた。この活動は地元の漁業関係者、市民、教育、行政機関と連携をする大きな流れとなっている。他の地域の藻場再生活動モデルとなることだろう。



企業研修受け入れ



ウニの密度管理の様子



地元小学校での出張授業



产品「裕次郎ウニ」（自然共生サイトロゴ入り）